



霞ヶ浦聾学校通信

明るく元気な子 やさしく思いやりのある子 自分から考えてがんばる子

平成 24 年 11 月 8 日

県立霞ヶ浦聾学校

校長 根本 忠行

NO 6

校庭の紅葉も色づき始め、朝夕は寒さを感じる季節になりました。10月、11月は、幼稚部遠足（東京：キッザニア）、小学部稲刈り・特体連スポーツ大会・校外宿泊学習（1泊2日）、中学部、関東聾学校卓球大会（東京：1泊2日）・校外宿泊学習（2泊3日）等 校外に出る機会が多く、保護者の皆様には、送迎やお弁当作りなど色々のご協力を頂きありがとうございました。

それぞれの行事の中で、子供達は普段の学校生活とは違った様々な表情を見せながら、元気に体験的な学習に取り組むことができました。



東日本大震災聴覚障害者救援中央本部からご支援をいただきました

東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の破損に伴う放射能汚染に関しましては、ご心配をおかけしていますが、放射性物質汚染対策特別措置法（特措法）による学校敷地内の除染が行われることとなり、測定及び調査等が実施されました。現在、県の保健体育課が具体的な除染作業について最終の調整をしているところで、今年中には除染作業が行われる予定です。

このような状況の中、東日本大震災聴覚障害者救援中央本部（全日本ろうあ連盟）から、子供達の教育活動のために除染等に関する支援を行いたいとの申し出を頂きました。支援の内容を検討させて頂いた結果、特措法では実施が難しい、校庭の樹木の剪定及び伐採、落ち葉の除去等について、引き続き職員作業として行う上での効率化と負担の軽減を図るために、それらの作業に使用する機械等に関してご支援を頂くこととしました。また、子供達が屋外で使用するベンチ（高さ調節可能）もお願いいたしました。東日本大震災聴覚障害者救援中央本部や全日本ろうあ連盟の皆様にご心よりお礼申し上げますと共に、ご支援頂いた機具を活用し、安全・安心な学校作りを目指して教育環境整備に取り組むたいと考えます。



寄贈品

エンジンブロワ	エンジン ヘッジトリマ	エンジン チェーンソー	エンジン 刈払機	チップパー シュレッダー	コンブ レッサ	ブローベンチ
枯葉等を集める	枝の剪定	木、枝の伐採	草刈り	枝等の粉碎	機械の清掃等	屋外用ベンチ
						
3台	1台	2台	2台	1台	1台	3脚

東日本大震災聴覚障害者救援中央本部から支援を頂くことに関して、全日本ろうあ連盟の担当の方と幾度となく電話でお話をさせていただきました。短いやり取りの中に、放射能汚染への心配だけではなく、聾学校の子供達に対する思いやりや聾学校教育に対するご期待を感じることができました。様々な方からお寄せ頂くご期待に応えることができるよう頑張っていきたいと思っております。